

1 基本情報

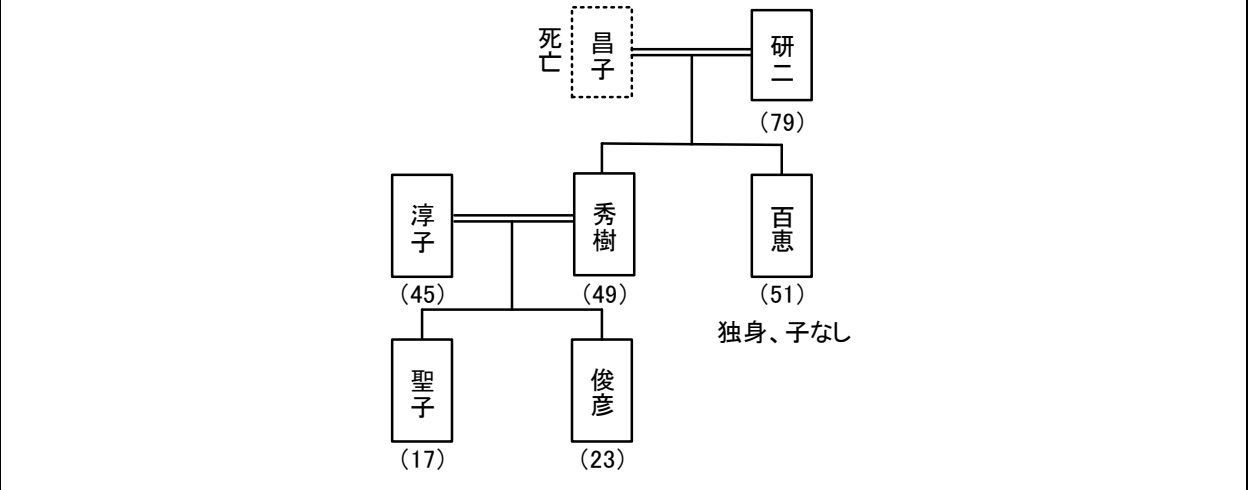
(1) 相談者

住所				電話	
氏名	沢口百恵	年齢	51	メール	

(2) 財産所有者

氏名	沢口研二	年齢	79	相談者との関係	父
----	------	----	----	---------	---

(3) 家系図



(4) 財産の状況

財産の種類	内容	概算価額	備考
不動産	自宅の土地建物	1200 万円	研二が一人暮らし
現預金	500 万円		

※ その他の財産はなし

2 ヒアリング事項

お客様の不安や悩み
百恵談 ・ 普段は私が父の面倒を見てきている ・ 父は現在、一人暮らしができていますが、物忘れも最近するようになってきており少し心配 ・ 要介護 1 ・ このまま、体力的に衰えたら、施設入所も検討している ・ 施設に入所して、お金がなくなってきたら、父の不動産を売却して施設費用に充てたい 研二談 ・ 最近体が弱ってきており、一人暮らしはいつかはできなくなりそう。その場合は施設入所もやむを得ない ・ 娘(百恵)には、何かと面倒になっている ・ 自分の体や頭の衰えも自覚しているので、娘にはいろいろ任せるしかない。 ・ 自宅の売却の話しも百恵から聞いている。施設に入って、お金がなくなったら自宅の売却もやむを得ないと思う。

※ ここから、事情が 2 つのパターンに分かれます。

事例パターン 1

追加の事情
・ 百恵と秀樹の仲は良好で、秀樹も研二のことをよく気にかけてくれている。 ・ 研二としては、自分の亡き後、財産が残っていたら、子ども達に平等に分けたいと思う。

対策の検討

現状のまま、何もしないとどうなるか	
・ 研二の認知能力低下で、不動産処分や預貯金振込ができなくなる。 ・ スムーズに施設入所できない、詐欺被害の可能性ある。 ・ 法定後見の場合、手間と費用がかかり、柔軟な財産管理ができない可能性がある。	
信託をする必要性	
・ 家族による柔軟な財産管理が期待できる。 ・ 財産管理により、スムーズな施設入所や詐欺被害防止が期待できる。	
信託以外の手続きでの検討	
(任意後見、遺言、生前贈与などでの対応は?) ・ 親族による任意後見で、信託財産以外の財産管理と身上保護が期待できる。 ・ 遺言は、本人のご要望が強ければ作成を検討できる。 ・ 生前贈与は、税務コストを比較検討して検討必要。	
信託のイメージ	
信託財産	・ 自宅 ・ 預貯金の一部(300 万)
委託者	研二
受託者※	秀樹
受益者※	研二
受益者代理人	任意後見人
信託監督人	なし
終了事由	研二の死亡
帰属権利者	秀樹と百恵(不動産は百恵も検討できる)
他に一緒にする対策	<input checked="" type="checkbox"/> 任意後見、 <input type="checkbox"/> 遺言、 <input type="checkbox"/> 生命保険、 <input type="checkbox"/> その他()
その理由	・ 研二が自由に使える金銭を確保しつつ、百恵がサポートする。 ・ 百恵が任意後見人となることで、受託者と業務分担する。

※ 必要に応じて第 2 順位以降も検討すること

事例パターン 2

追加の事情
<div><div></div><div>・ 秀樹と研二はそりが合わず、現在はほとんど交流はない。</div><div>・ 百恵も秀樹のことは性格的に合わないので、なるべく関わり合いを持ちたくない。</div><div>・ 研二としては、自分の亡き後、財産が残っていたら、なるべく百恵に渡したいと思っている。</div></div>

対策の検討

現状のまま、何もしないとどうなるか	
<div><div></div><div>・1と同じ。</div><div>・相続時の分割協議がまとまらない可能性がある。</div><div>・百恵に引き継ぎたい研二の希望が叶わない。</div></div>	
信託をする必要性	
<div><div></div><div>・秀樹から信託契約無効を主張される可能性がありうることを踏まえた検討が必要。</div><div>・任意後見で代替可能であれば、任意後見での対策も選択肢となる。</div></div>	
信託以外の手続きでの検討	
<div><div></div><div>(任意後見、遺言、生前贈与などでの対応は？)</div><div>任意後見→後見人報酬を出して相続財産を減らす。</div><div>遺言→百恵がいないときは遺贈する。付言事項の活用。</div></div>	
信託のイメージ	
信託財産	
委託者	
受託者※	
受益者※	
受益者代理人	
信託監督人	
終了事由	
帰属権利者	
その他	
他に一緒にする対策	<div><div></div><div><input checked="" type="checkbox"/> 任意後見、<input checked="" type="checkbox"/> 遺言、<input type="checkbox"/> 生命保険、<input type="checkbox"/> その他()</div></div>
その理由	<div><div></div><div>信託無効のリスクを減らすこと、後見人報酬を出すこと</div><div>後見人報酬から専門家の報告書作成費用等を出す(経費になる？)。</div><div>補充遺言と付言事項の活用</div><div>生命保険は費用対効果で判断する。</div></div>

※ 必要に応じて、第 2 順位以降も検討すること